

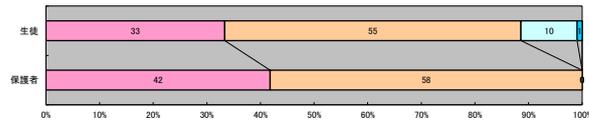
令和3年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

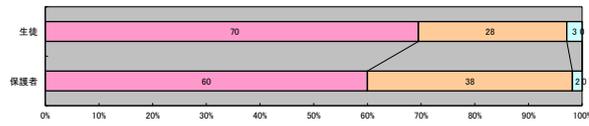
※凡例 全く当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

I 宮城県公立高等学校共通項目

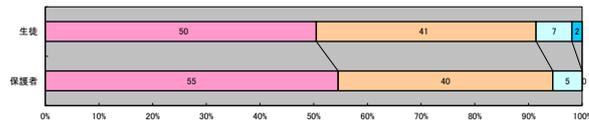
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



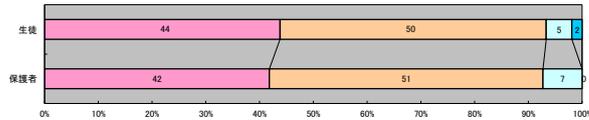
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



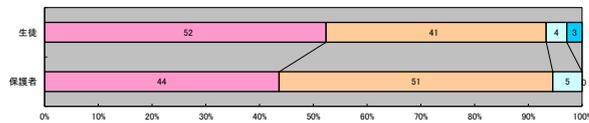
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



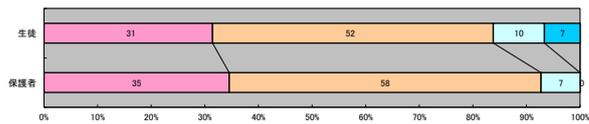
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



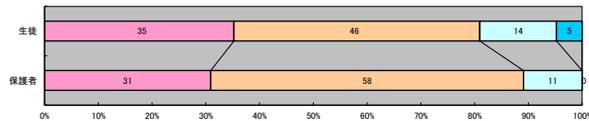
5 部活動は積極的に行われている（部活動）



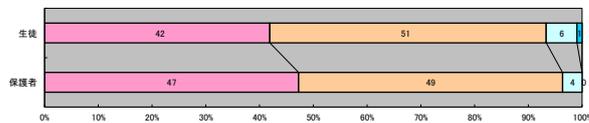
6 生徒会活動は積極的に行われている（生徒会活動）



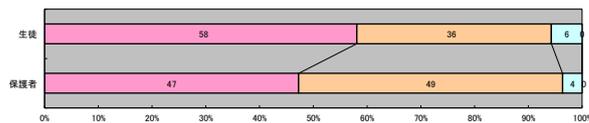
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



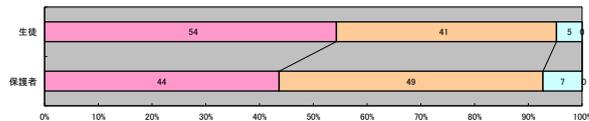
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



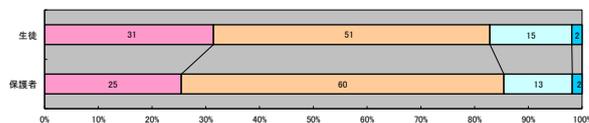
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



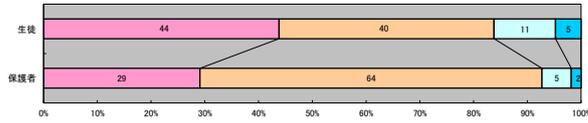
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



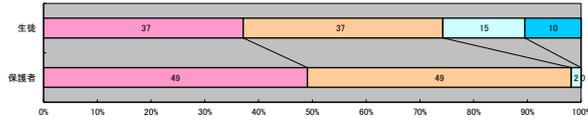
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ問題・生徒）
学校として、いじめの問題に対して連携する体制がとれている（いじめ問題・保護者・職員）



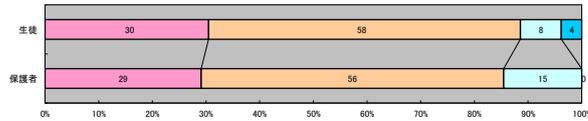
13 学校生活は充実している（総合満足度）



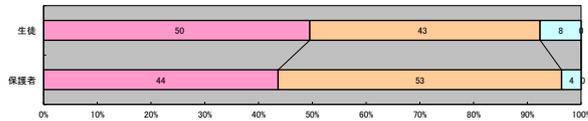
（生徒・保護者データの分析）
（生徒）
肯定的評価が、90%以上→7項目、80～89%→5項目、70～79%→1項目でした。最も良い評価を得たのは「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」で、97.1%でした。昨年度も高評価であり、生活指導が生徒一人一人に浸透している結果と思われます。「学校生活は充実している（総合満足度）」が74.3%と13項目中で最も低くなりました。その要因として新型コロナウイルス感染症による学校行事の中止や実施内容の変更があげられます。
（保護者）
肯定的評価が、90%以上→11項目、80～89%→2項目でした。「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）」が100%と高評価でした。少人数で個々の生徒に手厚く指導できる環境であることが、この結果につながったと考えられます。

II 教育方針と学校経営

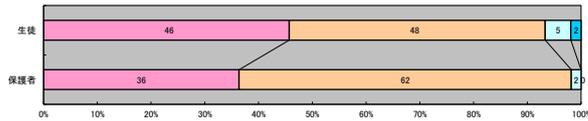
1 本校の教育方針や指導目標は知っている



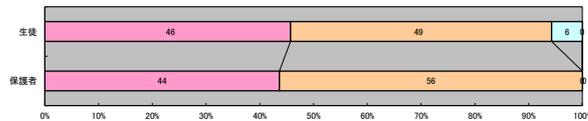
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている



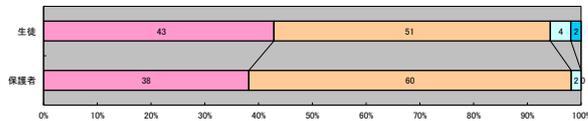
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている



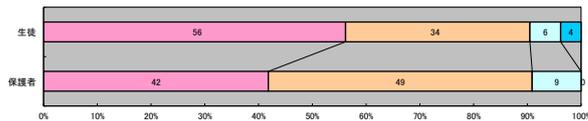
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている



5 本校は、豊かな情操と高い道徳心のある生徒を育てようとしている



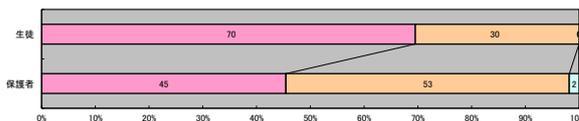
6 職員が協力して教育活動にあたっている



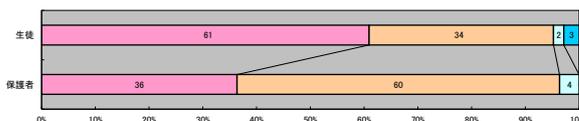
（生徒・保護者データの分析）
生徒・保護者とも、肯定的評価が全6項目で85%以上の高評価でした。本校の教育活動にご理解いただいている結果だと感じています。今後、学習指導要領の改訂に合わせて取り組みを見直し、生徒にとってより良いものに改善していきます。

Ⅲ 基礎学力の充実向上

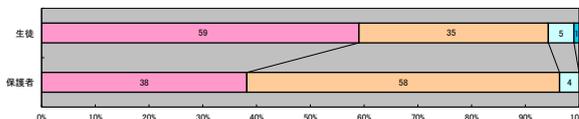
1 本校の授業日数や時間は充分である



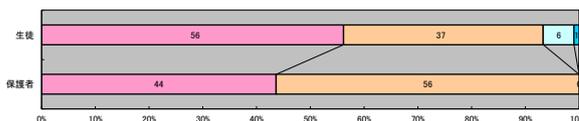
2 本校の授業後や週末の宿題の内容や量は適切である



3 本校では、基礎学力の向上に向けた対策を充分に実施している



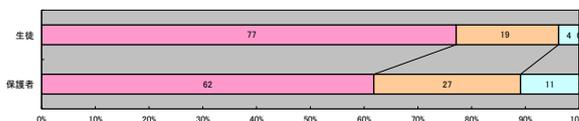
4 本校の学習環境は整っている



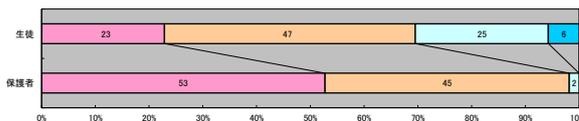
(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも、肯定的評価が全4項目で90%を超えており、本校の教育活動にご理解いただいている結果だと感じています。特に宿題に関する項目は、昨年度コロナ禍中に5月末まで続いた臨時休校での課題への負担感と本年度の通常授業での宿題とを比較した結果と考えられます。今後、臨時休校となった際は本年度試行しているオンライン授業を本格実施することで、課題が調整できるため肯定的評価を維持できるものと考えます。

Ⅳ 規律ある生活習慣の確立

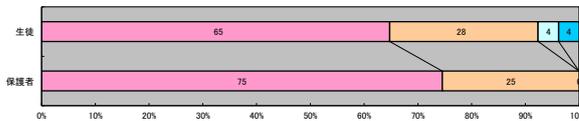
1 本校の生徒は、あいさつを励行している



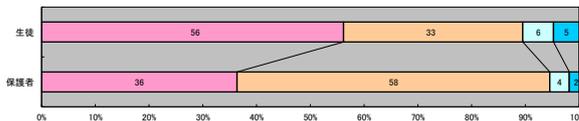
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ない



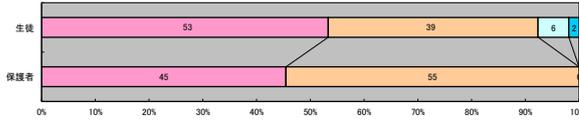
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を適切に行っている



4 本校では、いじめや差別に対して適切に対応している



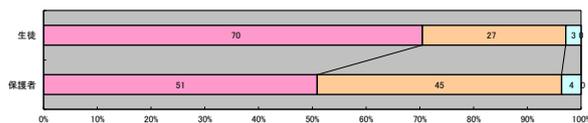
5 本校は、清掃など美化につとめている



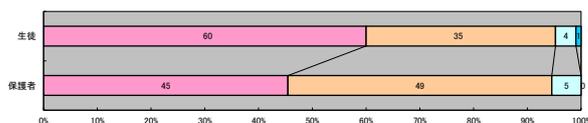
(生徒・保護者データの分析)
 肯定的評価が生徒・保護者とも4項目で85%以上と高評価でした。本校の取り組みにご理解いただいている結果だと分析しています。しかし、欠席・遅刻・早退の項目で、保護者の肯定的評価が昨年よりも10%上昇し98.2%となっているのに対して、生徒は69.5%と低い数値となりました。生徒は欠席・遅刻・早退がもっと少なくなって欲しいと感じています。

V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路情報を提供している



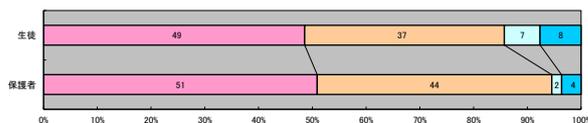
2 本校では、生徒が希望する進路を達成をしている



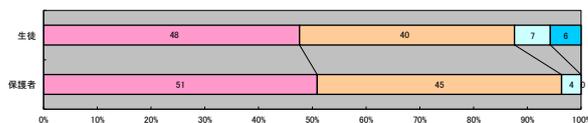
(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも肯定的評価が両項目で95%以上となりました。生徒全員に進路情報を提供し、生徒を通じて各種案内が保護者へ届けられるよう声掛け等を行っている成果と捉えています。また、生徒の現在の進路希望を把握し、対策等が特に必要だと思われる生徒に対しては情報提供とは別に呼び掛けを行っていることも一因となっています。今後も必要な情報提供やガイダンス、講話を充実させていきます。

VI その他

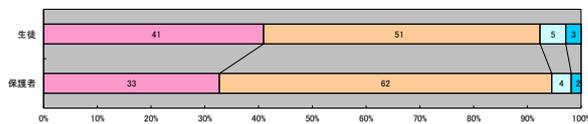
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応している



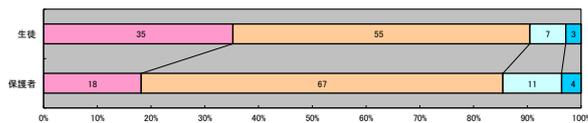
2 本校が実施している企業実習・起業家研究・販売実習(栗原版デュアルシステム)のとりくみを知っている



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っている



4 本校のホームページは、内容が充実している



(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも肯定的評価が全4項目で85%以上となっています。特に、保護者の栗原版デュアルシステムについてが昨年度よりも39%上昇し、96.4%となりました。具体的な取り組みをホームページへ掲載などして周知を充実させた成果だと分析しています。今後も継続して各項目に取り組みたいと思います。